

第6回 運営推進会議

開催日時	2019年3月21日(水) 13:00~14:00
参加者	ご利用者様とご家族 ○○様・長女様 民生委員 荒木様 地域包括センター職員 植原様 デイサービス管理者 丸井 デイサービス職員 木村
司会進行	管理者 丸井
議事録作成者	職員 木村

1 当日の次第

- (1) 管理者の挨拶
- (2) 利用状況、活動状況報告
- (3) ヒヤリハット・事故・苦情報告
- (4) その他報告
- (5) 質疑応答
- (6) 意見交換、地域の助言、ご家族の要望等
- (7) 閉会

2 管理者の挨拶

利用者の心身の状態を把握し可能な限り自宅で、その方の持つ能力に応じ自立した日常生活が出来るよう、さらに孤立することなく、心身ともに健康で過ごせるようご支援しています。またご家族の負担軽減を図り必要な援助が行えるよう配慮いたします。集団介護の支援ではありますが一人ひとりのニーズに寄り添い、生活機能に重点を置いて日常の動作を継続して行って頂いています。

3 利用状況、活動状況報告

利用状況について

今まで安定してご利用してくださっていた利用者様の入所等が重なり過去最低の利用者数となった。昨年夏ごろより1日の定員(10名)に満たない状態が続いている。介護度では要介護2の利用者が最も多い。要支援(予防相当)の方は3名の枠で受け入れていたが、3月より予防相当4名で受け入れている。(別紙資料参照)

活動状況について

・春と秋には出来るだけ外に出て利用者の体力作りに努めている。秋から冬にかけて、去年は暖かく紅葉が遅かったので12月過ぎまで紅葉を見に近隣の公園を散策した。

・今回初めて初釜を行った。茶道の経験がある方がいるので、活かしてもらいお茶を立てて頂いた。茶道の心得のある方とない方とで行事への理解に差がでてしまった。

・「大人の塗り絵」を活動に取り入れている。大人の塗り絵コンテストに応募したところ今年初めて入選し、いきいき賞次点に選ばれた。皆感激して喜びややりがいを感じて下さったようだった。ジュースとお菓子で祝賀会を行った。

4 ヒヤリハット・事故・苦情報告

ヒヤリハットについて

・自宅前で膝折れし座り込んでしまった。職員が横について介助していたが途中で座り込み、ご家族が車椅子を持って来て下さり、二人で乗せようとしたが利用者を支えきれず小さな台に腰をかけ体制を整えて車椅子へ移乗した。

・トイレが詰まってしまった。利用者が使用済みの尿とりパットをトイレに流してしまい汚物でトイレ内が溢れてしまった。家では汚物入れに捨てているとのことなのでデイでも分りやすく表記した。

・タクシーに乗り一人で来所された。ご家族に連絡するとその日は体調不良で朝からデイに行くかどうか迷い混乱していたことが分った。今後お休みのときはご家族より連絡していただくこととなった。

・薬袋の返却による薬持参忘れ。デイではご家族も薬の服用確認を希望される方のため空の薬袋を返却する方がいる。職員が薬袋の返却希望の無い方の薬袋を返してしまったため、利用者は薬があると勘違いしてしまい当日分の薬を持参しなかった。返却する方とそうでない方を確認し今後同様の間違いをしないよう注意する。

・物のやり取り。こっそり渡していたが職員が見ていたため、渡された方に確認したところ自分の物か分からないという返答だったのでこちらで預かった。渡した本人に改めて説明したところ物のやり取りはいけないことを理解されており、やり取りしたものは本人にお返しした。

・痙攣発作を起こした方がいた。以前にも同様のことがあった。意識は有りベッドへ移乗介助し静養に切り替えて、ご家族へ連絡した。その後大きな変化はなかった。職員全体で緊急時の対応を再確認し、クリニックの看護師との連携について見直した。

5 その他報告

・12月に防災訓練を消防署職員2名同席のもと多摩南クリニックと合同で行った。

デイサービス職員と一部利用者が参加し、災害時の誘導の確認等その場での対応を訓練した。今回は、震度7の地震がおこり、1階クリニックの外にある電気メーターから出火したとの想定で訓練を行った。1階で叫んでも3階のデイサービスまで声が届きづらいことが分った。消防署より内線や携帯電話を使うこと、火災報知機を押すようにとの指示があった。また、メーターから出た火がまだ建物内にまわっていなければ、1階に下りて避難した方が良いとのアドバイスがあった。家具の転倒防止については特に指示は無かったが、本棚・下駄箱に転倒防止のパットを入れた。

消防署よりクリニックは非難してくる方も想定し水や食料を準備して欲しいとのことだった。クリニックでは水、アルファ米を用意している。

・職員研修について

今年度職員一人ひとりが個別目標を持ち一人2つ以上の研修や学習会を受講した。職場内では職場会議の機会に勉強会を行った。今年2月に当法人主催で複十字病院認知症疾患医療センターの飯塚先生を講師に招いた「認知症対応アップ学習会」に職員全員で受講した。

・来年度の加算について

サービス提供体制強化加算Ⅰ(ロ)を市に申請し、処遇改善加算はⅡからⅠへの変更を3月に行った。

管理者→4月より利用者様には加算に伴った利用料のご負担いただくことになりました。職員がこれまで以上に介護職としての自覚を持ちスキルアップに努め、利用者様へより良いご支援を提供できるよう尽力して参ります。

6 質疑応答、意見交換など

利用者様ご家族→前日の夜からデイに行くことを楽しみにしています。特にお風呂が楽しみなようです。
ご利用者様ご本人→家では背中を洗うのは難しいがここでは洗ってくれる。髪は自分で洗っている。職員と話しながら楽しく洗っている。

民生委員→利用者様が楽しみにしていると聞くのは職員のやりがいに繋がりますね。

包括職員→毎回ヒヤリハットの内容を聞くと細かく対応していると感じます。1階にクリニックがあるので細かく対応していると思います。予防相当の利用者様も4名受け入れてくださっていますね。

管理者→予防相当の方でも外出時に車椅子対応の方もいます。要介護と要支援の方を分けて同等の方で集まるのが活動としては良いのかも知れませんが、色々な方が存在することで刺激になるようです。

包括職員・民生委員→(自分と)違う人がいることでよい刺激になると思います。

管理者→支えあうことでより良い関係を築くことが出来ます。

包括職員・利用者様ご家族→一人ひとりを大切にしてくださっている様子が分ります。

包括職員→皆さんの良いところを拾い上げているようですね。

管理者→小規模・少人数の良いところであると思います。一人ひとりを大切に、個別対応も出来る範囲で行っていきたいと思っています。

7 閉会

これからも地域とのつながりを大切に、お一人お一人が住み慣れた地域で生活していけるよう関係する地域、医療職、関係する事業所との連携を取ることに努め、ニーズに寄り添った支援を提供していきたいと思います。今後ともご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

次回開催予定日 2019年9月18日(水) 13:00～